

わくわく！ふるさと子ども夏学校

- 伊仙町は、消費・安全対策交付金を活用して、教育ファームに取り組んでいる。
- 事業実施主体としては、伊仙町食育推進協議会が取り組み、町内の保育園(3園)、幼稚園(3園)、小学校(8校)、中学校(3校)と全ての学校等で実施している。
- それぞれ、1年を通して教育ファームを実施する中で、農業への理解や食への感謝、島の食材への理解や関心を高め、その報告として11月に行われた「食の文化祭」で全校の取組が展示された。



【取組の内容】

町内の全ての保育園、幼稚園、小学校、中学校で、農作業体験が実施され、各園、各校で学年別の作業や、収穫した作物を使った調理実習等工夫を凝らした取組を行っている。

また、農作物も、稲、野菜、特産品のサトウキビ等多岐にわたっており、全体で34回実施され、延べ845名が参加した。



米の脱穀体験



ピーマン作り体験



ジャガイモ収穫体験



黒糖作り体験

【取組の成果】

参加した子どもの主な感想は、

- ・苦手な野菜も自分で育てたものなら、がんばって食べられた。
 - ・自然に対する感謝の気持ちと、植物を大切にしようとする気持ちをはぐくむ事ができた。
 - ・作物を育てることで農業に携わる人の苦勞を知ることができた。
- 等、農作物に興味を持つことから始まり、年代に応じた農作業体験等を通じて農家や町の農業について学ぶことに結びついている。



「食の文化祭」での展示の様様



調理体験の様子